



福本 学

胃のポリープについて

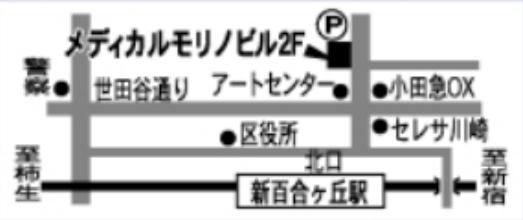
胃のレントゲン健診でポリープを疑われ内視鏡を受けられる方も少なくありません。ポリープには良性のもの、良性と悪性の境界病変とされるもの、悪性のものがあります。病変の性質を判断するには、組織を一部採取して、顕微鏡で調べる病理検査が決め手になりますが、内視鏡機器の進歩により、観察に使う光の波長を変えたり、拡大機能を使って表面の微細な特徴を観察することも可能となり、診断の精度の向上に役立つています。

多くのですが、部分的にがんになつたものもポリープとよばれます。胃底腺ポリープや過形成性ポリープなど良性のポリープはほとんどの治療は不要です。境界病変は腺腫とよばれ、腺腫はがん化しやすい

内科

新百合山手福本内科
☎955-8877

麻生区万福寺6-7-2
メディカルモリノビル2F
<http://www.fukumotonaika.jp>



と考えられています。がんそのものが良性ポリープと似た形で大きくなるものもあります。

病変の性質を判断するには、組織を一部採取して、顕微鏡で調べる病理検査が決め手になりますが、内視

鏡機器の進歩により、観察に使う光の波長を変えたり、拡大機能を使って

表面の微細な特徴を観察することも可能となり、

診断の精度の向上に役立つています。